

3類型	農林水産物	通巻番号	7 - 20 - 006
地域資源名	栗	認定日	平成20年6月10日
地域	高知県四万十町	所管省庁	農林水産省、経済産業省

事業名: 四万十の栗を丸ごと活用した地栗食品及び箸、スプーン等の開発・生産・販売

代表事業者: 株式会社四万十ドラマ
 連絡先: TEL: 0880-28-5527
 FAX: 0880-28-4875

所在地: 高知県高岡郡四万十町十和川口62-9
 HP: <http://shimanto-tennen.com/>

共同申請者: 有限会社タネヒサ
 連絡先: TEL: 088-872-7461
 FAX: 088-872-7462

所在地: 高知県高知市中須賀町117番地
 HP: <http://www.tanehisa.com/>

事業概要(新たな活用の視点)

- ・四万十川流域は高知県内の8割ほどの栗生産量を誇るが、生産者の高齢化や後継者不足により生産量は減少傾向にある。
- ・食の安心安全という観点から、菓子メーカーを中心に産地のわかる栗への需要が高まっている。また、雇用の機会を創出して地域活性化を図るため、本事業に着手した。
- ・これまで、加工は全て県外の業者に委託していたが、地域の加工業者と連携して一貫した生産加工体制を構築することで、鮮度やコスト面での改善を図る。
- ・栗をドライ化することで食べやすくするとともに、栗を丸ごと活用するというコンセプトのもと端材を活用して箸やスプーン等の商品開発を行う。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

競争力

- ・四万十の栗は平均25gと、市場平均の18gに対して大きさの面で優位性がある。また、渋皮をそのまま食べても甘みがあるなど、カロリーや甘さの面でも差別化が図られている。

市場性

- ・菓子メーカーを中心に生産地の分かる国内産栗への需要が高まっており、本事業で開発・生産を行う商品は市場のニーズに合致したものとなっている。

販路

- ・首都圏・関西圏へ安心安全を前面に押し出して販路を拡大し、「四万十の地栗」のブランド化を図っていく。また、各種専門家と連携した商品開発を行い、ホームページを整備してインターネットでの販売にも取り組む。



地域資源における関係事業者との連携

- ・農家との連携により原料の確保を行うとともに、放置されている栗園の再生に努める。